

さるしま



第14号 平成27年12月25日発行

校長 小菅 哲也

神奈川県を飾った日光修学旅行



10月に横須賀のトップを切って行くはずだった日光修学旅行。12月10日(木)・11日(金)に実現しました。文字通り、待ちに待った、しかも神奈川県内小学校のトリを飾る修学旅行となりました。

この時期の日光は、横須賀より「気温が10度低い」と言われていました。出発の1週間前には、雪が積もったり、氷が張ったりしている日光の映像がテレビで流れていました。

ところが、実際に行ってみると…。田戸小の6年生だけの、ラッキーな出来事が待ち受けていました。修学旅行専用電車は、「田戸小専用電車」として運行されました。華厳の滝、戦場ヶ原、湯の湖、東照宮など、ふだんは込み合う観光地がどこも空いていてゆったりと見学することができました。また、いろは坂を中心とした車窓からの眺めも抜群で、紅葉の時期とは一味違う、神秘的・幻想的な姿を見せていました。

「修学旅行は、6年間の小学校生活の集大成」ということが言われます。一つひとつの言動に、ふだんの生活のすべてが凝縮されます。子どもたちの中には、けがを押して参加した人も数名いました。見学では、雪道を通ったり、長い階段を上ったり、あいにくの雨の中で行動したりする場面もありました。そんなとき、肩を貸したり、荷物を持ったり、さり気ない一言をかけたりする姿が、あちらこちらで見られました。また、「〇組が待っているから早く行こうよ」といった周囲を思いやる言葉も再三聞こえてきました。そんな姿を目にするたびに、田戸小の子どもたちを誇りに思わずにはいられませんでした。



心のこもった最高の「お・も・て・な・し」



「修学旅行のいちばんの思い出」—保護者の皆さんにとっては、何でしょうか。「ホテル・旅館での生活」を挙げる人も少なくないでしょう。今年は、『梅屋敷』というホテルにお世話になりました。建物は少々古いのですが、そこには、心温まる魅力が隠されていました。

夕食や朝食では、おかみさんが目の前に並んだお料理の特長を紹介しながら、自らが給仕をしてくださいました。これには、子どもたちの食もどんどん進みます。子どもたちのお目当てのひとつ「肝だめし」では、旧館を開放していただいたうえに、ホテルの皆さんが趣向を凝らした演出をしてくださいました。翌朝は、夜が明けぬ5時前から、子どもた

ちの安全を気づかい、玄関のモップがけをしてくださっていました。さらに、雨の中での見学を終え、休憩店に入ると、そこには大量のバスタオルと新聞紙を用意して待ってくださっているホテルの方の姿がありました。

「今日は、すてきなお兄さん・お姉さんたちに会えたんだよ。…」で始まった「退館式」でのおかみさんのあいさつは、子どもたちはもちろん、教職員の心にも強く響きました。帰り際、私にこんな話もしてくださいました。「田戸小の子どもたちは、私たちが行ったことに、『ありがとう』『美味しかったよ』という言葉をごく自然に返してくれる。まっすぐな心で受け止めてくれることが、何ともうれしく、何とも気持ちよかったです。またいつの日か田戸小の子どもたちにお会いできるのを楽しみにしています。」

今回の修学旅行は、宿泊したホテルはもちろん、旅行者さん・鉄道会社さん・写真屋



さんなど、たくさんの方のご支援が心にしみる旅行となりました。そのご厚意にしっかりと応えてくれた子どもたち。2 か月間待った甲斐のあった修学旅行でした。

6年生の保護者の皆さんにおかれましては、2度に渡る準備と寒い中でのお出迎え、ほんとうにありがとうございました。

こちらも見事な「お・も・て・な・し」

現在、4年生と6年生が、総合的な学習の時間に、横須賀米軍基地の中にある、サリバンスクールの子どもたちと交流活動を行っています。12月15日(火)には、4年生の児童が、日本の伝統的な文化である、おはやし・書道・福笑いを、サリバンスクールの子どもたちに紹介し、体験してもらう企画を行いました。

顔を合わせるのは2度目とは言え、ふだん使っている言葉や親しんでいる文化がまったく異なる相手に、4年生の子どもたちが日本の文化をどう伝えるか、興味津々でした。いろいろな方法を考えてこの場に臨んだのですが、なかなか上手くいきません。「どう言えば分ってもらえるんだろう…」と困惑している様子がうかがえます。身振りを交えたり、「ワン、ツー、スリー…」と掛け声をかけてみたり、手拍子でリズムをとったり、指で筆づかいを示したり、絵に描いて説明したり、うまくいったとき拍手をしたり…、必死の工夫が、時間の経過とともに、



笑顔や歓声を生み出し始めました。

外国語を使いこなす技もたいせつですが、「『伝えたい』という熱意、相手の気持ちを思いやるやさしさこそが、相手を動かす」ということを子どもたちに学ばせてもらいました。今回、子どもたちが感じた“手応え”が、これからの生活の中で、どのような広がりを見せるかたいへん気になるところです。



♥ 4年3組担任・池原麻衣子教諭が、12月いっぱい産休に入ります。1月からは、池田梨奈教諭が、4年3組担任として関わらせていただきます。引き続きご協力をお願いいたします。

皆さん、よいお年をお迎えください・・・